

相生山緑地市道工事 市長に再開撤回要求

5市民団体が要望書

広沢一郎市長が、2010年から中断している相生山緑地（天白区）を横断する市道「弥富相生山線」の工事を再開する考えを示したことについて、反対する五つの市民団体が26日、市長に方針の撤回を求める要望書を市に提出した。

広沢市長は、河村たかし前市長が中断した整備計画について、一般車両が通行できる形で再開する方針を示した。市議会本会議で示した。要望書では、工事再開で緑地の生態系が破壊され

市の担当者室に要望書を提出する福井共同代表ら＝市役所で



るとして方針の撤回を求めている。

5団体は市役所を訪れ、広沢市長に面会を求めたが、市長は公務中を理由に応じなかった。代わりに緑政土木局の担当者が要望書を受け取った。

市役所で会見した「相生山緑地を考える市民の会」の福井清共同代表は「失望と怒りを持って抗議した

い。市の方針が大きく転換し、大きな不安を抱いている」と話した。「相生山の自然を守る会」の野田恵以子代表は「（緑地に生息する）ヒメボタルは市の財産。もう一度、仲間を広めて声を伝えたい」と述べ、署名活動を行うことも検討するという。

弥富相生山線の 工事中止を要望

市民団体

名古屋市の市道「弥富相生山線」の相生山緑地期間（天白区）について、工事を再開する方針を示したことを受け、地元の市民団体5団体が26日、ヒメボタルが生息する環境の保護などを理由に工事を中止するよう、市に要望書を出した。事前に住民への説明がなかったといい、「方針の撤回を求める」とした。今後、広沢一郎市長と面会する。

同線を巡っては、河村たかし市長（当時）が2010年、環境への影響を理由に工事を中止。21日の市議会本会議で、広沢市長が「早期に実現できるようにする」と述べていた。